

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	伊万里市立山代東小学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上については、学習した内容を元に表現する力については、まだ課題が見られるため、授業改善の工夫が必要である。 ・思いやりのある言動を実践していくために、具体的な言動を紹介する機会や場を設けるようにする。 ・運動を好む児童が多く、体育的行事や外遊びなど、積極的に活動をすることができた。 ・コミュニティ・スクールとして、PTA、地域の方との連携に努める。また、山代を愛し、山代を育む人材を育成する。山代の「ひと」「もの」「こと」とのかかわりを通じて、自己有用感を育み、将来に夢や希望を語るができる子どもを育てる。
------------------	---

2 学校教育目標	「笑顔で 元気な 東っ子」の育成
----------	------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 「進んで学習」・・・めあてをもって主体的に学習し、自分の考えを進んで発言する。 ② 「自分も友達も大切に」・・・自他や郷土のよさを知り大切にするとともに相手を思いやり、ともに生きようとする。 ③ 「心と体をきたえ 何事にもチャレンジ」・・・健やかな心を体を持ち、前向きに何事にも挑戦する。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標

重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価					
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果		評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・学力向上対策評価シートの共通実践を校内研究の取り組みと関わらせることで、マイプランの取り組みを推進し、成果指標の達成を目指す。								学力向上対策コーディネーター
	○「山代メソッド」における話し合いの過程に焦点を当て、思考力を引き出す授業の実践	○県学習状況調査やORTIにおいて、前学年の正答率、ポイントを上回る。 ○教職員アンケートで「話し合う活動において話し合う必然性をもたせて取り組ませることができていますか」について肯定的な回答をした教職員の割合が70%以上。	・校内研究において「話し合う活動」の質的改善に取り組み、全担任が年間1回の授業研究を行って検証する。								学力向上対策コーディネーター 研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○年に2回、アンケートを実施し、「自分も友達も大切にできた」と答える児童の割合を80%以上にする。 ○多様性の理解を深める学習を年に2回以上実施する。	・子どもたちの思いやりのある言動を紹介する機会を設け、可視化し、意識づけする。 ・道徳の授業や朝の読み聞かせなどで多様性についての学習を2回以上する。								道徳教育担当 人権・同和教育担当者
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○困ったときに、自分から誰かに相談することができたと回答した児童の割合が80%以上	・「〇月のこころ」のアンケートで子どもたちの悩み事を早期発見する。								教育相談担当 養護教諭
	○「伊万里っ子しぐさ」を活用した心の教育の推進	○自分から進んで挨拶をすることができる児童の割合が90%以上	・挨拶の仕方として、立ち止まり、目を見て、おじぎをして挨拶をすることを推奨する。 ・上記の挨拶の仕方を「東っ子しぐさ」と名付けて、全校共通した指導を行い、挨拶への関心を高める。								生徒指導担当 生活部担当
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で200分以上の児童生徒60%以上 ○スポーツチャレンジに挑戦し、前より運動が好きになった児童の割合が60%以上	・委員会を活用し、遊びの提案を行うことで外遊びを奨励する。 ・各学級や縦割りですぐれかの競技でエントリーし、2学期までに記録に挑戦させる。								体育主任 特活部担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。 ○業務改善を年間3つ以上実行させる。	・定時退勤日の設定と確実な実施 ・年に2回業務改善について考える研修を行い、時間だけでなく業務の質的な改善を教師自身で考え実践する。 ・年間行事の見直しを行う。								管理職・教務主任 事務職員

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組内容				中間評価		最終評価				主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果		評価		意見や提言
○特別支援教育の充実	○個に応じた指導体制の充実 ○特別支援教育の推進	○児童に関する情報交換会を週に1回実施する。 ○特別支援教育について理解を深めるため、職員の研修会を年2回以上実施する。	・保護者面談や情報交換会、校内支援委員会を通して保護者や職員間の連携を図り、共通理解をして支援を行う。								
○地域連携教育の推進	○コミュニティスクール・子ども伊万里学の推進	○地域サポーターの登録者数を30人以上に増やす。 ○各学年、年に1回以上、地域人材を活用した授業や行事を行う。	・地域や保護者に対してコミュニティスクールの概要について説明し、理解を深める。 ・各学年、年に1回以上、地域人材を活用した授業や行事を行う。 ・学校運営協議会と連携し、地域サポーターの募集を行い、山代東小人材マップを作成する。								管理職・教務主任

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
----------------	---